



ラクシーレ（食材流通BPaaS）

○本社所在地：東京都大田区

○事業概要：

飲食店向け青果クイックコマース

食材流通BPaaS事業

○常時使用する従業員：119名（2025年10月時点）

○現在の売上高：25億円（2025年3月期）

○法人番号：9010801019725

○Web：https://www.vegekul.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
池田将義

食材流通を豊かで魅力的な産業に

人とテクノロジーの力で飲食店と食材流通業者双方をダントツでラク・トクさせる

全国3万社の食材流通業の現場を、深夜のアナログ業務と人手不足から解放し、途切れない食のインフラを構築することで日本の食料安全保障に貢献します。売上高100億円の実現は、農林水産物の流通インフラを支えるより多くの人材が、この産業で働くことに魅力を感じられる世界の実現につながると確信しています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2029年：売上高100億円達成目標
2030年：全国へのサービス展開目標
2040年：アジアへの展開目標

課題

1. 地域特性を包含した「マイクロ商圈毎標準モデル」の確立
地域ごとの多様な商慣習をデジタル基盤で柔軟に吸収
2. AI・技術実装による「事業規模拡大と省力化」の両立
事業規模の拡大とともに業務レバレッジがかかる構造を実現
3. データ資産を活用した「付加価値領域」の拡張
堅牢な商流基盤の上に新たな収益源を構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

1. サプライチェーンの強靱化
地域物流リソースの最適配置とネットワーク化
業界標準となるデジタル取引基盤の確立
2. 顧客体験の革新
デジタルデバイドを解消する「誰でも使える」UXの提供
テクノロジーと人的サポートの融合による業務支援
3. データドリブン経営の深化
商流・物流データの戦略的活用によるLTV最大化

実施体制

1. 機動的な経営執行体制: 変化に即応し、非連続な成長への資源配分を断行する迅速な意思決定プロセスを構築
2. ハイブリッド開発体制: 現場の知見を即座に技術実装へ昇華させ、競争優位性を生み出し続ける組織連携
3. 標準化されたオペレーション基盤: 全国規模のネットワークを、質を落とさずに統括・管理可能なオペレーション構造の構築